

## 平成18年度林業研究部の研究評価

林業研究部試験研究評価実施要領に基づき、平成18年度に実施した林業研究部試験研究評価委員会の主な内容は次のとおりでした。

### 委員

- ・ 社団法人三重県緑化推進協会専務理事
  - ・ 三重県木材組合連合会専務理事
  - ・ 三重大学名誉教授
  - ・ 津市民
- の4名

### 1. 平成18年度第1回試験研究評価委員会

開催日：平成18年9月19日 場所：林業研究部

内容：事前評価

#### 1) 委員長選出

委員会運営内規に基づき、委員の互選により委員長に三重大学名誉教授が選出されました。

#### 2) 評価対象課題

人工林の長伐期化に対応した森林管理技術の開発

スギ梁桁材の乾燥技術に関する研究

県産スギ横架材のспан表の作成研究

尾鷲ヒノキによる新たな機能性部材の開発

#### 3) 研究の評価

各課題とも、委員長の進行により研究担当者からプレゼンテーションを行い、質疑応答を含めて約1時間余を所要して行われたあと、評価方法内規に基づき20点満点で採点されました。12点を下回るものについては課題として不採択、計画の変更が具申されます。

評価結果は、人工林の長伐期化に対応した森林管理技術の開発が15.75点、スギ梁桁材の乾燥技術に関する研究が16.50点、県産スギ横架材のспан表の作成研究が17.50点、尾鷲ヒノキによる新たな機能性部材の開発が16.00点で、それぞれ「実施」と評価されました。

### 2. 平成18年度第2回試験研究評価委員会

開催日：平成19年1月24日

内容：事前評価

#### 1) 評価対象課題

ハタケシメジの新品種確立と現場移転技術の開発事業

野外型簡易施設を利用したきのこ栽培技術の開発

#### 2) 研究の評価

第2回試験研究評価委員会の評価結果は、ハタケシメジの新品種確立と現場移転技術の開発事業が16.50点、野外型簡易施設を利用したきのこ栽培技術の開発が17.00点となり、それぞれ「実施」とされました。

### 3. 平成18年度第3回試験研究評価委員会

開催日：平成19年3月14日

内容：事後評価

1) 評価対象課題

木材成分の効率的抽出と利用に関する研究

2) 研究の評価

第3回試験研究評価委員会の評価結果は、14点となりました。評価委員から、廃棄物として問題となっている樹皮の利用に関する研究は極めて重要であるが、単独で研究するには難しいので、他機関と連携して行うことが大切であり、研究の発展に期待したいという意見がありました。